

comuoon® mobile

COMMUNICATION SUPPORT SYSTEM

取扱説明書



universal sound design®

この度は comuoon mobile をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
本製品を正しくお使いいただくため、ご使用になる前に必ずこの取扱説明書をお読み
ください。また、必要なときにご覧になれるよう保管しておいてください。

モバイル型対話支援システム comuoon mobile について

「comuoon（コミュニケーション）」とは、「Communication」と「Cocoon」の造語です。

「まったく新しい聴こえの形が生まれた」という意味を込めています。また「コミュニケーション」という呼び名はフランス語のコミュヌ [komyɛn]「共用」「共有」にあたり「聴こえのユニバーサルデザインを実現していく」という意味を込めたネーミングです。

comuoon mobile の特徴について

「コミュニケーション」をサポート

「モバイル型対話支援システム comuoon mobile（コミュニケーションモバイル）」は、デジタルアンプ、マイクアンプ、マイクが一体になったマイククロPA^{*}システムです。話し手が付属のマイクで語りかけることで、聴こえやすい音声を作り出し、コミュニケーションをサポートすることができます。

※ Public Address の略、イベントや講演会等でマイク、スピーカー、アンプ、ミキサーなどを使って声や音を拡声するシステムを指します。

ワンステップですぐに利用できる

それぞれの機器の電源を入れるだけでマイクトランスミッターと本体がコネクトし、準備完了。難しい設定は必要ありません。

高音質デジタルワイヤレス技術を搭載

デジタルワイヤレスにより信頼性が高く安定したワイヤレス音声伝送を実現。

アナログワイヤレスシステムとは異なり、干渉やシグナル劣化のリスクが減少します。最大通信距離は見通し約 10m となります。

最大 4 システムを組み合わせて利用可能

1 台のワイヤレスマイク送信機（マイクトランスミッター）に対して、最大 4 台の comuoon mobile 本体を同時に使用できるので、異なる聴力レベルの方でもご利用が可能となります。

持ち歩きができるポータブル仕様

スピーカーやアンプ、コントローラーが一体型で、さらに内蔵電池も搭載。最大で約 4 時間使用でき、電源がない外出先でもご利用いただけるようになりました。

ユニバーサルマウントを採用

本体底面のユニバーサルマウント（ISO1222 規格）を使用して、comuoon mobile 本体をカメラの三脚やブラケットなどに取り付けられます。内蔵電池のため煩わしい配線も不要なので、設置場所の自由度が増えました。

comuoon リスニングエンジン

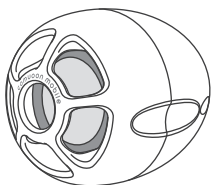
「comuoon リスニングエンジン」は低消費電力ながら、ピュアでクリーンな音質を生み出します。マイクトランスミッターには、オーディオメーカー各社のトップエンドモデル機に採用されている日本無線製オーディオ用高音質オペアンプ「MUSES」を採用、同社の 1bitA/D コンバータ、DSP を組み合わせることにより、スピーカーの直前までフルデジタル処理で行う先進の構成で低ノイズかつ忠実な音声を再現します。

目次

パッケージ内容	4
安全にお使いいただくために	5
無線通信機能を使用する場合のお願い	12
各部の名称	13
本体	13
マイクトランスミッター	16
三脚やブラケットへの取り付け	17
comuoon mobile を充電	18
本体を充電する場合	18
マイクトランスミッターを充電する場合	20
comuoon mobile とマイクの接続	22
comuoon mobile の設置	23
診察室での設置例	23
病室での設置例	24
comuoon mobile の使い方	25
ハウリングするときは	27
ハウリングを改善するために	27
困ったときは	28
comuoon mobile についての Q & A	32
comuoon mobile 製品仕様	33

パッケージ内容

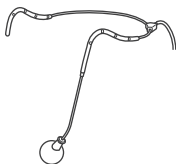
ご使用になる前に次の同梱品がそろっているか確認してください。



- 本体

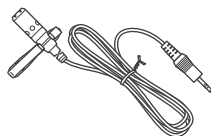


- マイクロトランスミッター※¹



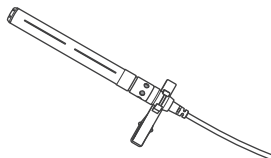
- ヘッドセットマイク

comuoon mobile type HS に
属します。



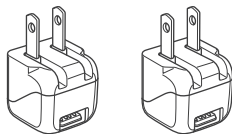
- ピンマイク

comuoon mobile type PM に付
属します。



- ハーフショットガンマイク

comuoon mobile type HSG に
付属します。



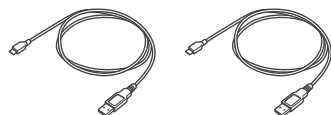
- AC アダプタ※²

- 取扱説明書（本書）

- 保証書

※¹ comuoon mobile type ML に
は付属しません。

※² comuoon mobile type ML は
1 ケ付属します。



- USB ケーブル※²

安全にお使いいただくために

ここに示した警告サインと図記号の例は、本製品を安全に正しくお使いいただき、お使いになる人や、他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するためのものです。表示と意味は次の通りです。



この表示の項目を守らないと、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を表示しています。



この表示の項目を守らないと、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を表示しています。



この図記号は禁止行為であることを示しています。



この図記号は必ず実行していただきたい行為であることを示しています。



警告

本製品について



電子レンジや高圧器に入れないでください。

火災、故障の原因になります。



煙が出たり、異臭、異音などの異常を感じたりしたら、すぐに使用を中止してください。

そのまま継続して使用すると、火災、感電、故障の原因になります。すぐに電源を切り、コンセントから電源プラグを抜いてください。



絶対に分解したり、修理、改造をしたりしないでください。

火災、感電、故障、やけどの原因になります。



内部に異物を入れないでください。

液体や異物が内部に入ってしまったときは、すぐに電源を切り、コンセントから電源プラグを抜いてください。

水などの液体や金属片などの異物を入れると、火災、感電、故障の原因になります。



内蔵電池内部の物質などが目の中に入ったときは、こすらず、すぐにきれいな水で洗った後、直ちに医師の診療を受けてください。

内蔵電池内部の物質などの影響により、失明などの原因となります。



内蔵電池が漏液したり、異臭がしたりするときは、直ちに使用をやめて火気から遠ざけてください。

漏液した液体に引火し、火災、破裂などの原因となります。



内蔵電池内部の物質などが漏れた場合は、顔や手などの皮膚や衣類などにつけないでください。

失明や皮膚への傷害などを起こす原因となります。

内部の物質などが目や口に入った場合や、皮膚や衣類に付着した場合は、すぐにきれいな水で洗い流してください。

また、目や口に入った場合は、洗浄後直ちに医師の診療を受けてください。



落としたり、強い衝撃を加えたりしないでください。

衝撃を加えてしまったときは、すぐに電源を切り、コンセントから電源プラグを抜いてください。そのまま継続して使用すると、火災、感電、故障の原因になります。



雷が鳴りだしたら、本体や AC アダプタ、USB ケーブルに触れたり、マイクなど周辺機器を接続したりしないでください。

落雷による感電の原因になります。



長時間、音がひずんだ状態で使用しないでください。

発熱し火災、故障の原因になります。



注意

本製品について



本製品を持ち運ぶときは、しっかりとしたカバンなどに入れてください。

落下して、故障、けがの原因になることがあります。



磁気の影響を受けやすいもの（磁気カード、時計など）を近づけないでください。

スピーカーからの磁気の影響で使用できなくなる恐れがあります。



本体は塗料などで塗装しないでください。

材質が変質し、異音、故障の原因になります。



三脚やブラケットに本体を取り付けたまま移動しないでください。

落下して、故障、けがの原因になることがあります。



ご使用の前に十分に充電をしてください。

出荷時に若干量充電していますが、長時間使用するには電池残量が不足をしている場合があります。



スピーカー部を爪やボールペンのペン先など先の尖ったもので突かないでください。

故障の原因になります。



警告

本製品の設置について



水や薬液のかかる恐れのある場所に設置および保管しないでください。

火災、感電、故障の原因になります。

高温、多湿、ほこりの多い場所に設置しないでください。



窓際や車中など直射日光のあたる場所、ストーブのような暖房器具の近くなど高温になる場所、調理台や加湿器の近くなど油煙のあたる場所、湿気の多い場所、またほこりの多い場所に設置すると火災、感電、故障の原因になります。



車の運転や安全の妨げになる場所には取り付けしないでください。

誤った場所に取り付けると交通事故の原因になります。



乳幼児の手が届かない場所に設置してください。

けが、事故の原因になります。



注意

本製品の設置について



不安定な場所に設置しないでください。

落下したり転倒したりして、故障、けがの原因になることがあります。



三脚やブラケットに取り付ける際は、しっかりと確実に取り付けてください。

取り付けが不十分の場合、落下して故障、けがの原因になることがあります。



USB ケーブルを人が通るところなど引っ掛かりやすい場所に這わせしないでください。

つまずいて転倒したり、本製品が落下したり、けがや事故の原因となります。



電子機器や発信機（携帯電話など）から離して設置してください。

雑音の原因になります。



警告 電源について



ACアダプタはAC100Vの家庭用電源で使用してください。

異なる電源で使用すると、火災、感電、故障の原因になります。



濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。

感電、故障の原因になります。



電源プラグやコンセントにほこりがつかないようにしてください。

電気の火花がほこりに引火し、火災、感電、故障の原因になります。
定期的にゴミやほこりを取り除いてください。



火のまわりなど周辺温度が高い場所では充電はしないでください。

火災、故障の原因になります。



電源プラグはコンセントに根元まで確実に差し込んでください。

差し込みが不完全だと、発熱したりほこりが付着したりして火災、故障の原因になります。

電源プラグを根元まで差し込んでもゆるみがあるコンセントは使用しないでください。



USBケーブルを抜くときは、必ずプラグを持って抜いてください。

コードを引っ張ると、コードが破損して、火災、感電、故障の原因になります。



コードの上に重い物を載せないでください。

コードが破損して火災、感電、故障の原因になります。



ACアダプタを布やカバーで覆わないでください。

熱がこもることで、ACアダプタが変形して、火災、感電、故障の原因になります。



付属のACアダプタやUSBケーブル以外を使用しないでください。

火災、感電、故障の原因になります。



所定の充電時間を越えても充電が完了しない場合は、充電をやめてください。

発熱し火災、故障の原因になります。



長時間使用しない場合でも、6ヶ月に一度は完全に充電をしてください。

過度な放電は、電池内部の異常な化学反応によって、漏液、火災の原因となります。



注意

電源について



充電の際は、本書をよくお読みください。

誤った方法で充電すると、発熱し火災、故障の原因になります。



長期間使用しないときは、電源を切って電源プラグを抜いてください。

安全のため、電源を切り、コンセントから電源プラグを抜いてください。



通電中の本体やACアダプタに長時間触れないでください。

低温やけどの原因になります。



USBケーブルをACアダプタや本体、マイクトランスミッターに巻き付けないでください。

断線の原因になります。



満充電をしても使用時間が短くなった場合は、内蔵電池の交換が必要です。

内蔵電池が寿命の可能性がります。内蔵電池の交換については、販売代理店やお問い合わせ窓口までご連絡ください。



注意

お手入れについて



ベンジン、シンナー、合成洗剤などの薬液を使用しないでください。変色の原因になります。汚れは、乾いた柔らかい布で拭き取ってください。

その際、マイクに息を吹きかけることはしないでください。



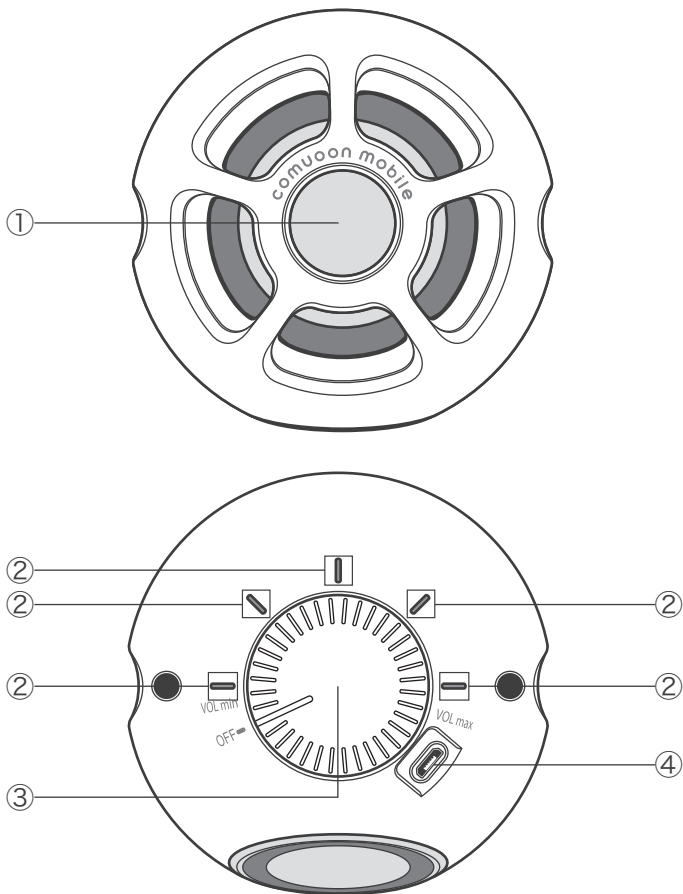
お手入れするときは、電源を切って電源プラグを抜いてください。電源を接続したままお手入れをすると、感電の原因になります。

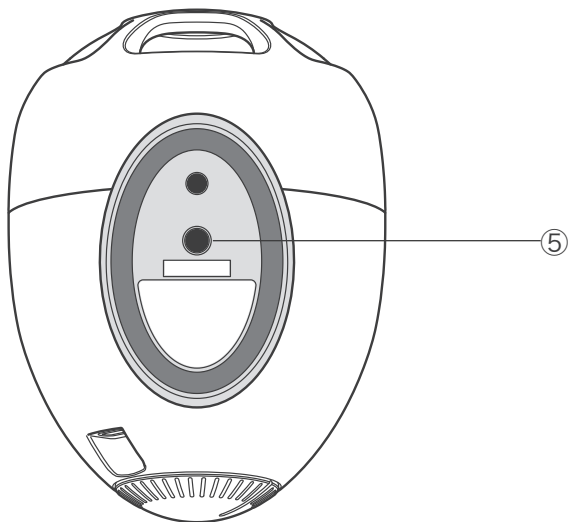
無線通信機能を使用する場合のお願い

- ・本製品の使用周波数帯は 2.4GHz です。この周波数帯では、電子レンジなどの産業、科学、医療機器の他、工場の製造ラインなどで使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定小電力無線局、アマチュア無線局など、他の無線局が運用されています。
- ・本製品を使用する前に、周辺区域で他の無線局が運用されていないことを確認の上、使用を開始してください。
- ・本製品は電磁波を発生、使用、放射するため、取扱説明書に従って使用しない場合には無線通信の障害の原因となることがあります。また、特定の設置方法によって障害が起きないことを保証するものではありません。本製品がラジオやテレビの受信に障害を発生させる場合には、次の方法をお試しください。なお本製品が原因かどうかを調べるには、本製品の電源を入/切してご確認ください。
 - 受信アンテナの向きを変える、または設置場所を変える
 - 本製品と受信アンテナの設置場所を離す
 - 本製品と受信アンテナを別回路のコンセントに接続する
 - 販売店、もしくはラジオやテレビの専門技術者に相談する
- ・本製品は日本国内でご使用ください。本製品の無線通信機能は日本国内での無線規格に準拠しています。
 - ※ 海外でご使用になると罰せられることがありますので、ご注意ください。
- ・その他、本製品の無線装置などについて不明な点などございましたら、販売代理店または、お問い合わせ窓口までご連絡ください。

各部の名称

本体





①スピーカー

②イルミネーター

現在の音量レベルや本体の状態を確認できます。(電源が入っているときは点灯) → P15

③ボリュームノブ

電源を入れる：時計回りに回す。

・電源を切るには、「OFF」の位置まで反時計回りに回してください。

音量を上げる：時計回りに回す。

音量を下げる：反時計回りに回す。

④充電端子

USB ケーブルを利用して AC アダプタに接続し、充電します。

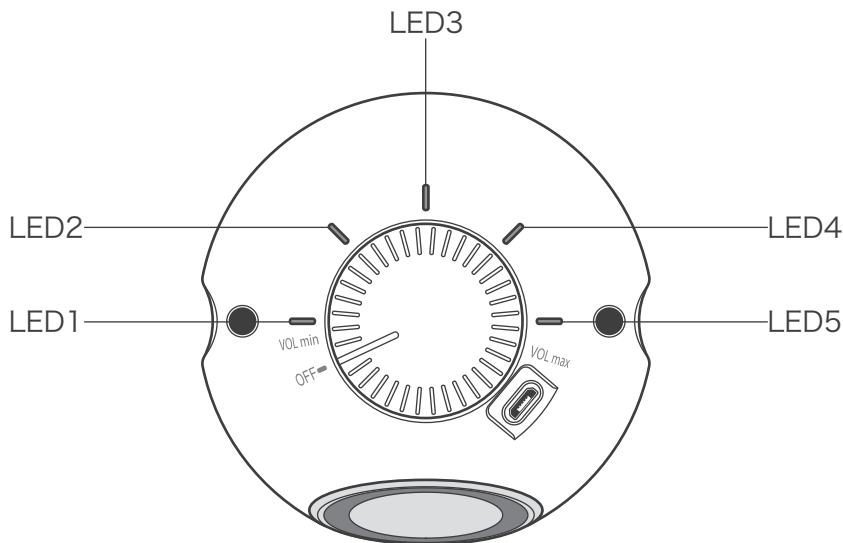
⑤ユニバーサルマウント

カメラの三脚や各種ブラケットを取り付けられます。

■イルミネーターの表示

音量レベルに応じてLED1～5が点灯します。また、本体の状態も確認できます。

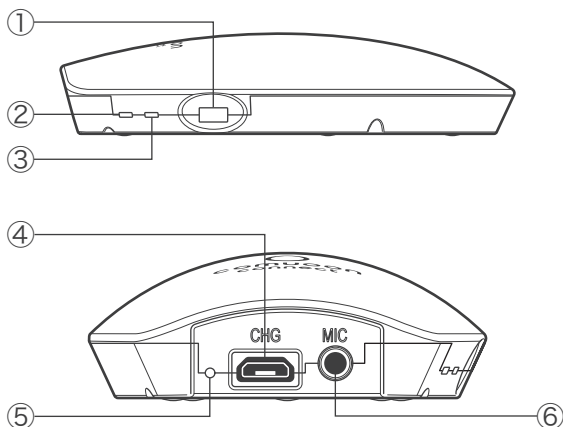
- ・約2秒間操作をしないと、イルミネーターが暗くなります（低輝度モード）。



イルミネーターの表示	本体の状態
LED1～5：点灯	音量レベル1～5
LED1：点滅	音量0
LED1、5：点滅	システム異常※
LED2、4：点滅	ドライバ異常※
LED1～5：順次点灯	充電中
LED1～5：点滅	充電完了
LED3：点滅	電池残量低下
LED1、3、5：点滅ののち全消灯	スリープ状態
LED3：点灯（黄色）	本体の起動中

※ 万が一、システム異常やドライバ異常が発生した場合は、本体のボリュームノブを反時計回りに「OFF」の位置まで回して電源を切り、再度時計回りに回して電源を入れ直してください。

マイクトランスミッター



①電源ボタン

押す：マイクトランスミッターの電源を入れます。

- ・電源が入っている状態で押すと、マイクトランスミッターから送信する音を消音/消音解除することができます。

長く押す：マイクトランスミッターの電源を切ります。

②ペアリングインジケータ

本体とのペアリングの状態を確認できます。(ペアリング中は点灯、ペアリング待機中は点滅)

③ミュートインジケータ

マイクトランスミッターの消音の状態を確認できます。(消音中は点滅)

④CHG 端子

USB ケーブルを利用して電源に接続し、充電します。

⑤電源/充電インジケータ

電源の入/切や充電の状態などを確認できます。(電源が入っている場合は青色で点灯、充電中は赤色で点灯、電池残量が少ない場合は青色で点滅)

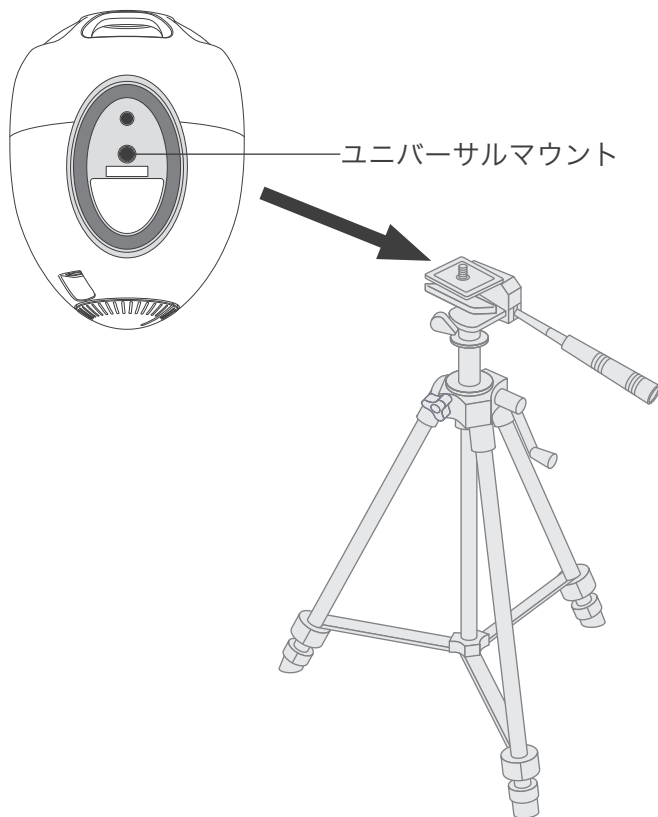
⑥MIC 端子

マイクを接続します。

三脚やブラケットへの取り付け

本体のユニバーサルマウントに、三脚やブラケットを取り付けられます。

※ 取り付け方法は、三脚やブラケットの取扱説明書をご覧ください。



comuoon mobile を充電

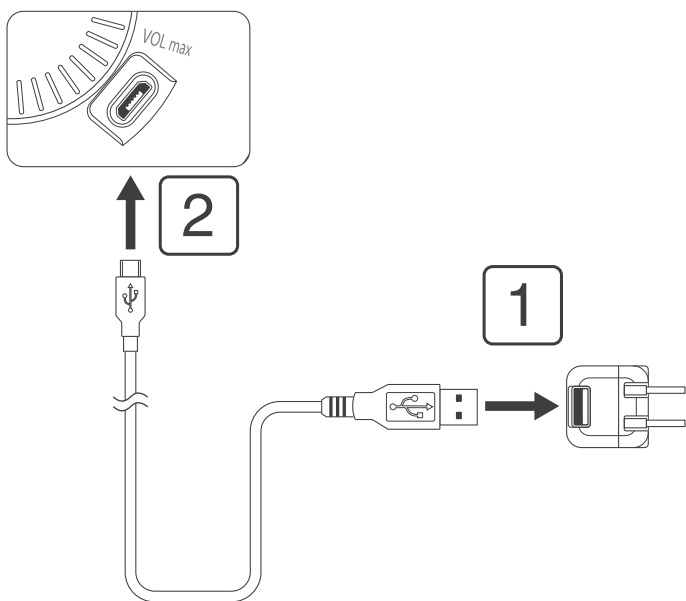
本体を充電する場合

充電時間は約 3 時間です。

※ 充電は電源を切ってから行ってください。電源を入れたまま充電すると、通常より充電時間が長くなる場合があります。

1 AC アダプタの USB コネクタに USB ケーブルの USB プラグを接続します。

2 本体の充電端子に USB ケーブルの microUSB プラグを接続します。

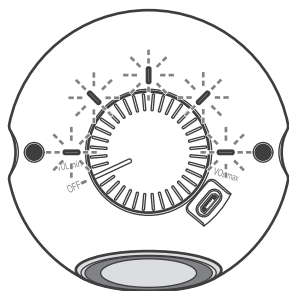


3

ACアダプタの電源プラグをコンセントに接続します。

イルミネーターが順次点灯して、充電が開始されます。
充電が完了すると全イルミネーターが点滅します。

・イルミネーターの表示について→P15



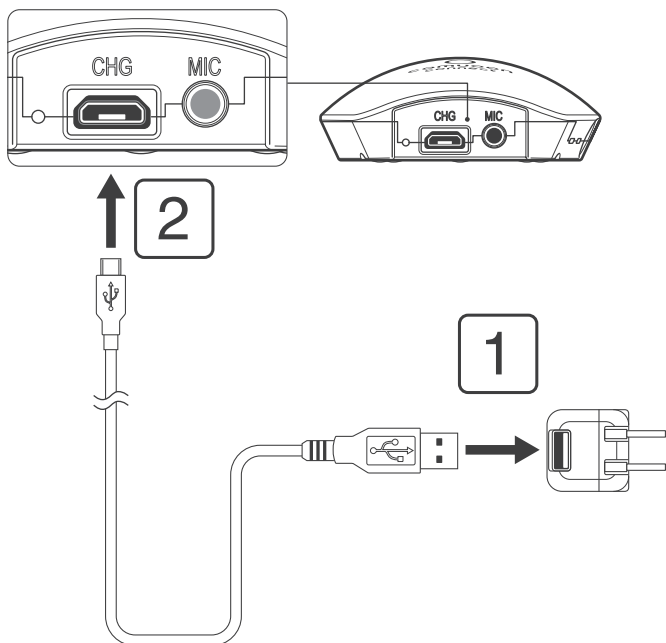
マイクトランスミッターを充電する場合

充電時間は約 5 時間です。

※ 充電は電源を切ってから行ってください。電源を入れたまま充電すると、通常より充電時間が長くなる場合があります。

1 AC アダプタの USB コネクタに USB ケーブルの USB プラグを接続します。

2 マイクトランスミッターの CHG 端子に USB ケーブルの microUSB プラグを接続します。

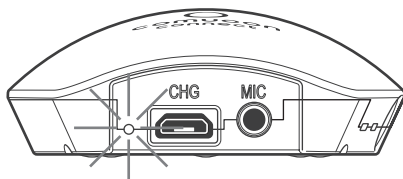


3

ACアダプタの電源プラグをコンセントに接続します。

マイクトランスミッターの電源/充電インジケータが赤色で点灯します。

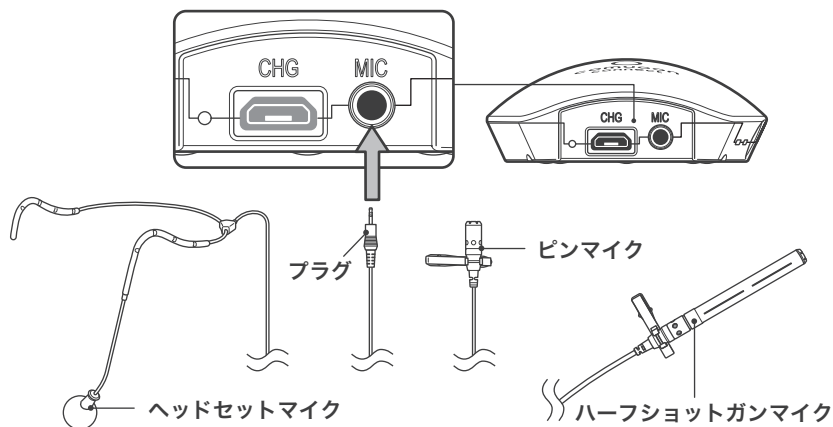
充電が完了すると電源/充電インジケータが消灯します。



comuoon mobile とマイクの接続

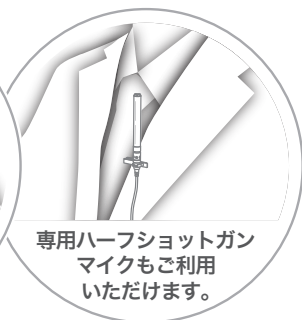
マイクトランスミッターの MIC 端子にマイクを接続します。マイクは数種類ありますので、用途に応じてマイクを選択してください。

- 1 ヘッドセットマイク/ピンマイク/ハーフショットガンマイクのプラグを、マイクトランスミッター背面の MIC 端子に接続します。



comuoon mobile の設置

診察室での設置例

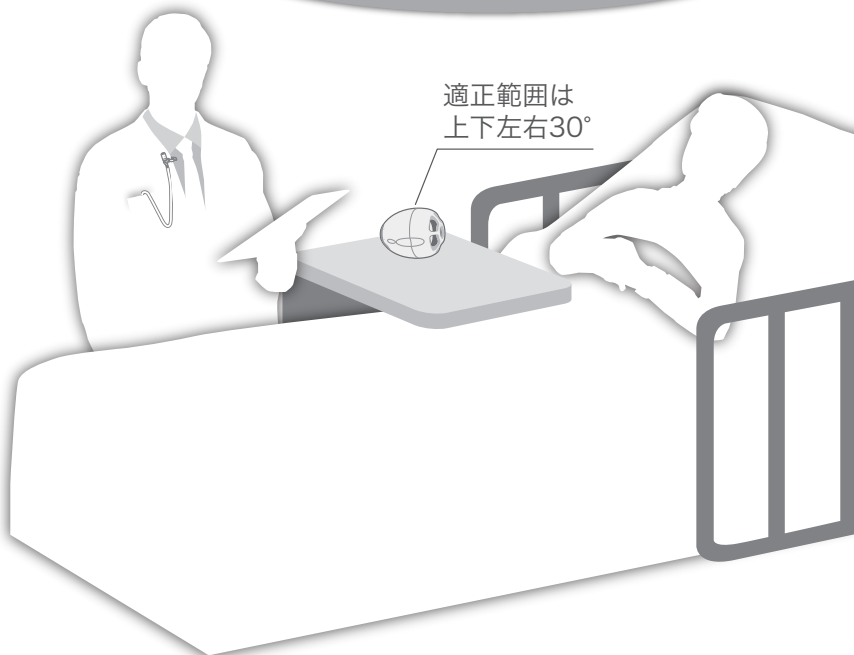


マイクトランスミッターはポケット等に入れて身に着ける

病室での設置例

製品本体から聞き手までの距離は
1m以内をおすすめします。

適正範囲は
上下左右30°



※ハウリングするときは→ P27

comuoon mobile の使い方

※ 1 台のマイクトランスミッターに対し、最大で 4 台の comuoon mobile 本体を同時にペアリングできます。

※ あらかじめマイクトランスミッターにマイクを接続しておいてください。→ P22

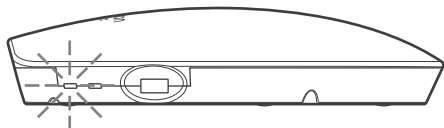
※ 本体が無信号状態で約 5 分間操作をしないと、自動的に電源が切れます（スリープ）。

再度電源を入れる場合は、本体のボリュームノブを反時計回りに「OFF」の位置まで回してから、時計回りに回してください。

1 マイクトランスミッターの電源ボタンを押します。

マイクトランスミッターの電源／充電インジケータが青色で点灯／点滅し、マイクトランスミッターの電源が入ります。

・電源が入るとマイクトランスミッターのペアリングインジケータが点滅し、ペアリング待機中の状態になります。



2 本体のボリュームノブを時計回りに回します。

本体のイルミネーターが点灯し、本体の電源が入ります。

- ・本体の起動が完了すると**起動音が鳴り**^{※1}、イルミネーターに音量レベルが表示されます。
- ・本体が起動するとマイクトランスミッターのペアリングインジケータが**点灯**^{※2}して、自動的にペアリングが完了します。
- ・本体を追加でペアリングしたい場合は、追加する本体で手順2の操作を行なってください。

※1 充電中は鳴りません。

※2 本体の起動が完了してもマイクトランスミッターのペアリングインジケータが**点滅**している場合は、ペアリングができていません。本体のボリュームノブを反時計回りに「OFF」の位置まで回して電源を切り、再度時計回りに回して電源を入れてください。

3 本体のボリュームノブ回して音量を調整します。

4 マイクに向かって話します。

5 使い終わったら本体のボリュームノブを反時計回りに「OFF」の位置まで回します。

本体のイルミネーターが消灯し、本体の電源が切れます。

6 マイクトランスミッターの電源ボタンを長押しします。

マイクトランスミッターの電源/充電インジケータが消灯し、マイクトランスミッターの電源が切れます。

ハウリングするときは

ハウリングを改善するために

■マイクや設置位置が原因の場合

- ・マイクとスピーカーの距離が近すぎませんか？ マイクとスピーカーを 50cm 以上離してご利用ください。
- ・マイクとスピーカーが外向きになるように設置してください。マイクとスピーカーが向き合うと、ハウリングしやすくなります。
- ・ハウリングやノイズの原因になりますので、マイクを手を持って使用しないでください。
- ・手や物でマイクをふさがないでください。

■スピーカーシステムが原因の場合

- ・音量を上げすぎていませんか？ 本体のボリュームノブを反時計回りに回して音量を下げてご利用ください。
- ・手や物でスピーカーの正面をふさがないでください。

※ ハウリングが改善しないときは、販売代理店または、お問い合わせ窓口までご連絡ください。

困ったときは

Q

本体またはマイクトランスミッターの電源が入らない。

A

本体またはマイクトランスミッターの電池残量がない可能性があります。本体またはマイクトランスミッターを充電してください。

Q

音が出ない。

A

- ・スリープ状態の可能性があります。本体のボリュームノブを反時計回りに「OFF」の位置まで回してから、再度時計回りに回して電源を入れ直してください。
- ・本体とマイクの接続を確認してください。
- ・本体およびマイクトランスミッターの電源が入っているか確認してください。
- ・本体の音量レベルが最小の可能性があります。本体のボリュームノブを回して音量を調節してください。
- ・マイクトランスミッターが消音になっている可能性があります。マイクトランスミッターのミュートインジケーターが点滅している場合は、マイクトランスミッターの電源ボタンを押してください。

Q

音がひずむ。

A

本体のボリュームノブを反時計回りに回して音量を下げてください。

Q

音が小さい。

A

本体のボリュームノブを時計回りに回して音量を上げてください。

Q

ペアリングできない。

A

- ・ ペアリングは、見通し距離約 10m 以内で行ってください。本体とマイクトランスミッターの間に遮蔽物がある場合や、周囲の環境（壁、家具など）、建物の構造によっては、接続可能距離が短くなります。
- ・ ペアリングに失敗した場合は、本体とマイクトランスミッターの電源を切り、操作をやり直してください。
- ・ 近くにマイクトランスミッター以外の無線通信機器（Wi-Fi 機器など）があり、本製品と干渉している可能性があります。その他の無線通信機器を遠くに移動するか、電源を切ってください。
- ・ 近くに他の comuoon シリーズのトランスミッター（sound connect や TV connect など）がある場合、ペアリングができないことがあります。ペアリングを行うときは使用するマイクトランスミッター以外のトランスミッターの電源を切ってください。

Q 充電できない。

A 同梱品以外の充電器を使用すると充電ができない場合があります。

充電するときは付属の AC アダプタと USB ケーブルを使用してください。

A 本体のボリュームノブを反時計回りに「OFF」の位置まで回して電源を切ってから、再度充電をしてください。

Q 音声が途切れる。

A 無線通信が正しく行われていない可能性があります。

- ・ 本体とマイクトランスミッターの間に遮蔽物（壁や家具など）がある場合は、本体やマイクトランスミッターを移動してください。
- ・ マイクトランスミッターの最大通信距離は見通し約 10m です。また、周囲の環境（壁、家具など）、建物の構造によっては、最大通信距離が短くなります。本体とマイクトランスミッターの間隔を短くしてください。
- ・ 近くにマイクトランスミッター以外の無線通信機器（Wi-Fi 機器など）があり、本製品と干渉している可能性があります。その他の無線通信機器を遠くに移動するか、電源を切ってください。
- ・ 近くに本製品が使用する周波数帯（2.4GHz）と同じ周波数帯を使用する機器があり、本製品と干渉している可能性があります。その他の機器を遠くに移動するか、電源を切ってください。→ P12

Q

音声に雑音が入る。

A

マイクトランスミッターの電池残量が少ない可能性があります。マイクトランスミッターを充電してください。

A

マイクとマイクトランスミッターの距離が近すぎる可能性があります。

- ・マイクとマイクトランスミッターの距離を離してください。距離が近すぎると、雑音が発生する場合があります。

comuoon mobile についての Q & A

Q

マイクトランスミッターは、複数のマイクを接続できますか？

A

接続できません。
マイクの最大接続本数は 1 本です。

Q

ペアリングされた 2 組の本体とマイクトランスミッターを、同一の環境で使用すると混線しますか？

A

混線しません。
ただし本体の電源を入れ直す場合は、同一の環境には接続したいマイクトランスミッターのみがある状況にしてください。同一の環境にマイクトランスミッターが複数ある状況で本体の電源を入れ直すと、意図していないマイクトランスミッターとペアリングされる場合があります。

Q

本体にシールなどを貼ることはできますか？

A

できます。
本体にシールなどを貼っても音に影響がでることはありません。

comuoon mobile 製品仕様

本体

入力電源	DC5V
スピーカーユニット	φ 60mm フラットスピーカー
周波数特性 [※]	20Hz ~ 20,000Hz
最大出力 [※]	1.7W/8 Ω (10%THD)
T.H.D. [※]	0.2% 以下 (1kHz-1W 出力時)
S/N 比 [※]	80dB 以上 (A-weight)
ステレオ入力	ステレオマトリックスによるモノラルミックス
無線部遅延時間	100ms 以下
伝送方式	非圧縮伝送 fs=32k/44.1k/48kHz
保存温度	-5°C ~ 50°C
動作温度	0°C ~ 45°C
バッテリー/持続時間	3.7V 1,200mAh リチウムポリマー電池 /約 4 時間 [※] (満量充電時)
充電時間	約 3 時間
外形寸法	94mm (W) × 125mm (D) × 94mm (H)
質量	約 380g

※ テストモードによる測定値

マイクトランスミッター部

マイク入力	φ 3.5mm 3 極ミニジャック
入力電源	DC5V
伝送方式	2.4GHz デジタル無線
最大同時使用台数	4 台
最大通信距離	見通し約 10m (環境により異なります)
保存温度	-5°C ~ 45°C
動作温度	5°C ~ 35°C
バッテリー/持続時間	3.7V 1,020mAh リチウムポリマー電池 /約 8 時間 (満量充電時)
充電時間	約 5 時間
外形寸法	100mm (W) × 60mm (D) × 20mm (H)
質量	56g

USB ケーブル部

型式	USB A コネクタ - Micro B USB コネクタ
ケーブル長	2m

AC アダプタ部

入力電源電圧	AC 100V
出力電源電圧	DC 5V1A

マイク部 (ヘッドセットマイク)

型式	バックエレクトレットコンデンサー型
感度	-47dB±3dB (0dB=1V/1Pa)
周波数特性	150Hz ~ 10kHz
出力インピーダンス	2kΩ以下 at 1kHz (RL=2.2kΩ)
指向特性	単一指向性
動作電圧	1.3V ~ 10V 基準動作電圧 3V
消費電流	250μA以下
最大入力音圧	104dB S.P.L (DC3V RL=2.2kΩ at 1kHz 1% T.H.D)
S/N比	52dB以上 (at 1kHz/Pa A-Weighted)

マイク部 (ピンマイク)

型式	バックエレクトレットコンデンサー型
感度	-44dB±3dB (0dB=1V/1Pa)
周波数特性	100Hz ~ 20kHz
出力インピーダンス	1.5kΩ ±30% at 1kHz (RL=2.2kΩ)
指向特性	単一指向性
動作電圧	1.3V ~ 10V 基準動作電圧 3V
消費電流	500μA以下
最大入力音圧	110dB S.P.L (DC3V RL=2.2kΩ at 1kHz 1% T.H.D)
S/N比	60dB typical (at 1kHz/Pa A-Weighted)

マイク部 (ハーフショットガンマイク)

型式	バックエレクトレットコンデンサー型
感度	-43dB±3dB (0dB=1V/1Pa)
周波数特性	100Hz ~ 20kHz
出力インピーダンス	2kΩ以下 at 1kHz (RL=2.2kΩ)
指向特性	超指向性 (ラインカーディオイド)
動作電圧	1.3V ~ 10V 基準動作電圧 3V
消費電流	500μA以下
最大入力音圧	108dB S.P.L (DC 3V RL=2.2kΩ at 1kHz 1% T.H.D)
S/N比	63dB typical (at 1kHz /Pa A-Weighted)

MEMO

MEMO

MEMO

お問い合わせ窓口 製品の仕様・使い方や修理・製品のご相談は、お電話、ホームページおよびEメールサポートまでお願いいたします。

当社では、聞こえが気になる方でもお問い合わせいただけるようにお電話とは別にメールアドレスおよびWebサイトでのお問い合わせを設置させていただいております。

https://u-s-d.co.jp/contacts/form_loan/

E-mailの場合は、「support@u-s-d.co.jp」へお問い合わせください。

TELの場合は、 **0120-033-553**

保証の内容および条件につきましては、付属の保証書をご覧ください。

受付時間 10:00~18:00 土・日・祝、弊社休業日を除く

※お休み明けなどの混雑時にご返答にお時間をいただく場合がございます。

ユニバーサル・サウンドデザイン株式会社

〒105-0022 東京都港区海岸1-9-11 マリンクス・タワー 2F

URL: <http://u-s-d.co.jp>